

## 船舶事故調査報告書

平成21年7月23日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 長 後 藤 昇 弘  
委員 楠 木 行 雄  
委員 横 山 鐵 男（部会長）  
委員 山 本 哲 也  
委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成21年1月5日 13時25分ごろ本船が発見された。）
発生場所	不明（本船発見場所は、徳島県阿南市伊島町 伊島灯台から真方位060° 1.5海里付近（概位 北緯33° 51.5′ 東経134° 50.6′）であった。）
事故調査の経過	平成21年1月6日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 <sup>たいへいじ</sup> 太平次丸、9.1トン WK2-3569（漁船登録番号）、個人所有 14.35m×4.14m×1.14m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数25、昭和61年6月25日
乗組員等に関する情報	船長 男性 59歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士 免許登録日 昭和49年10月25日 免許証交付日 平成16年1月23日 (平成21年6月21日まで有効)
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、平成21年1月5日04時00分ごろ、底引き網漁の目的で、和歌山県雜賀崎漁港を出港し、和歌山県有田市宮崎ノ鼻西方沖に向かった。13時ごろ、本船と連絡が取れなくなったと漁業協同組合から、海上保安庁に連絡があり、捜索していた海上保安庁が、13時25分ごろ、伊島灯台から真方位060° 1.5海里付近において、無人で航行する本船を発見した。 翌6日07時40分ごろ、紀伊宮崎ノ鼻灯台から真方位269度7.350m付近で、漁業協同組合所属の漁船が、船長の遺体を発見し、その後、溺死と確認された。 本船発見時、灯火が点灯され、えい網状態であり、低速力で航行していた。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西、風力 1
その他の事項	発見された船長は、救命胴衣を着用していなかった。

分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 なし 不明 死因は溺死であった。 船長が溺死したのは、えい網中に落水したことによる可能性があると考えられる。 船長が落水したことについては、その理由を明らかにすることができなかった。
原因	本事故は、和歌山県有田市宮崎ノ鼻西方沖において、本船が操業中、船長が落水したため、発生した可能性があると考えられる。	